

地域密着型サービス 運営推進会議 記録

事業所名	デイサービスセンターすみれ
所在地	豊見城市字渡嘉敷150番地
サービス種類	認知症対応型通所介護
開催日時	令和6年11月21日(木) 14:00~15:00
開催場所	おもととよみの杜 2階ふれあいホール
出席者	利用者のご家族1名 地域住民の代表1名(嘉数地区民生委員) 地域包括支援センターの職員1名(地域包括支援センター友愛社会福祉士) 計6名 知見を有する者1名(ケアハウスひまわり施設長) 事業所の職員2名(管理者)・(生活相談員)
議題	利用実績及び活動報告
報告事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実績報告 (地域別、年代別、日常生活自立度別、要介護度別、職員の研修実施状況については資料提供)</li> <li>・職員の研修状況(資料提供)</li> <li>・ヒヤリハット、インシデント報告</li> <li>・感染対策</li> <li>・デイサービス行事報告</li> <li>・独り歩きの事例紹介(豊見城市認知症等見守りシール事業を利用しており早期発見に至った事例)</li> </ul>
評価感想等	<p>今回一人歩きの利用者が豊見城市認知症等見守りシール交付事業(どこシル伝言板)で発見されている事例に対して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(QRコード)見守りシールの大きさは? →横2.5センチ、縦5センチ大の長方形</li> <li>・(QRコード)見守りシールはどこに貼るのですか? →アイロンで衣類などに貼り付ける仕様となっており、当該利用者様は衣服や靴、鞆などに貼りつけている。</li> <li>・(QRコード)見守りシールのQRコードを読み取るとどうなるのか? →QRコードを読み取ると、対象者のニックネーム、対応方法や注意事項が記載されている「どこシル伝言板」にいきつく。QRコードを読み取ると同時に家族や関係者に通知がなされ、読み取</li> </ul>

	<p>った方と関係者がどこシル伝言板を通じてメールでやり取りができる。どこシル伝言板では個人の電話番号は入力できない仕様になっているようだが行政機関の電話番号は登録できるようだ。</p> <p>ご家族様より)</p> <p>(夫は) 家では何もしない。とにかく手がかかる。ですが、デイサービスで過ごすときは、体操したり、作業をしている。そういった姿をみると魔法にでもかかったのかと思う。家では水分を全然飲んでくれないがデイサービスでは、たくさん飲んでいる。水分を摂るためのいろいろな工夫があつてありがたい。</p>
<p>要望 意見 助言 等</p>	<p>・豊見城市認知症見守りシール交付事業（どこシル伝言板）がまだまだ世間に浸透していないと思うのもっと世間に知れ渡ってほしい。</p>
<p>その他</p>	<p>構成員様より) 認知症を有する方の金銭管理方法として後見人制度の情報提供があり参加者で共有しました。</p>